

令和 2 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	車両基地・貨物駅周辺整備対策事業	会計名称	一般会計		担当課	都市住宅課	
		予算科目	8 款 2 項 5 目	事業番号	3745	所属長名	三谷陽紀
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	迫田綱藏	
法令根拠等	社会資本整備総合交付金、愛媛県車両基地貨物駅等周辺整備対策事業補助金交付要綱				実施期間	【開始】	令和/平成 27 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 住みやすい都市空間づくり					【終了】	令和 2 年度(予定) <input type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	新しく駅ができることにより、周辺の交通量が多くなるため、安全な交通体系づくりを目指す。						
事業の対象	JR車両基地・貨物駅整備周辺住民	事業の目的		JR車両基地・貨物駅等整備による周辺地域への環境変化を軽減するため、道路等の整備を行う。			
事業の内容 (整備内容)	JR車両基地・貨物駅周辺の道路等の整備	昨年度の課題に対する具体的な改善策					

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	2年度予定	9月末の実績	2年度実績
直接事業費	188,628	0	0	11,000	0	8,968	道路改良延長	m	51	145	145	145
財源内訳												
国庫支出金	11,030	0	0	4,416	0	4,416						
県支出金	88,202	0	0	2,080	0	2,080						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0						
一般財源	89,396	0	0	4,504	0	2,472						
職員の人工(にんく)数	0.20	0.10				0.10						
1人工当たりの人件費単価	7,992	7,812				7,812						
※ 直接事業費+人件費	190,226	781				9,749						
主な実施主体	直接実施		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)									
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計		
										0		
成果指標	指標	当該年度までの事業費÷全体事業費×100	単位	⇒	区分年度	前年度	2年度	-年度	目標	2年度		
			%		目標	100	100	-	100			
	指標設定の考え方	実施計画に基づき工程管理を行い、目標年度での完了を目指す。	実績		98	100	-	100				
	指標で表せない効果											

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		昨年度からの繰越事業である車両基地・貨物駅周辺の道路整備であり、今年度をもって事務事業の完了となる。								
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	車両基地・貨物駅周辺の道路整備が全て完了し、周辺地域の利便性の向上等生活環境の改善が図られた。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に必要である。	3					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の関与は必要である。	5					
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3					
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	1					
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	5					
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	5						
		コスト効率	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3						
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	5						
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A		事業の方向性	<input type="checkbox"/> 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input checked="" type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 昨年度の繰越し事業が完成し、全体事業完了となったため。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に必要である。	4					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の関与は必要である。	4					
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4						
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	1						
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	3						
効率性		手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4						
		コスト効率	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3						
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	4						
所属長の課題認識	車両基地貨物駅開業後の周辺地域への環境影響について、引続き、地元及び関係機関との情報共有を行い、課題が発生した場合には連携して速やかな解決を図る。									
	供用された南伊予駅や車両基地等の施設を活用した地域の活性化策を検討する必要がある。									

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		<input checked="" type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>
------------	------	---

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	